

多機能鉄道重機

省力化

人手を要していた高所作業・重作業の機械化により、生産性と安全性の向上を目指す。



現状の課題・社会問題



将来の
工事作業員の労働力不足



重量物運搬、高所作業等が
人力のため非効率



労働者の
安全性への懸念

解決
手段



人型重機ロボットと
鉄道工事用車両を
組合わせた重機の開発

実現
効果



+



作業の
省力化・効率化および
安全作業を実現

多機能鉄道重機 ▶ 開発コンセプト



省力化

鉄道工事における高所作業や重量物運搬なども、安全かつ効率的に実施。

鉄道工事の非定型作業への対応を提供

コア
技術



人が直感的に
操作可能



活用用途の広い
ロボット



- 電気転てつ機、踏切しや断機、ホームドア等の電動機械の製造技術・センサ技術
- 上記を活用した安全設計技術（フェールセーフ技術）

多機能鉄道重機



安定足場のない
高所作業

人が安全な場所
（地上）から
ロボットを操作



鉄道工事への適用

レール上を走行可能な
軌陸車へ搭載

現在、多様な状況の作業で使用することができる、汎用性の高い鉄道重機を開発中です。
これまで人手を要していた作業の機械化を目指し、取り組んでまいります。